



関口昌男 議員  
(日本共産党)

**問** 市職員の給与改善の取組は

今年の市職員の給与改善については、人事院勧告や最低賃金の改定がされているが、どのように改善する考えか。特に、非常勤職員の処遇改善について、給与改善だけでなく休暇などの改善にも努めるべきではないか。また、会計年度任用職員制度の検討状況は。

**答** 給与改定、賃金の引上げなどを実施する

人事院勧告を受け、国会での法改正後に、職員の給与改正条例を議会定例会に上程する。最低賃金の改定にともない臨時職員の賃金を引き上げるほか、休暇を含めた勤務条件について適切な措置を講じていく。会計年度任用職員制度は、課題の整理、検討をしている。

**問** 教育を巡る諸課題の取組は

市教育委員会は部活動指導のガイドラインを作成し、教職員の働き方改革に取り組んでいるがその成果は。また、国のさまざまな改善策はどのように導入されているか。さらに、学校給食の無料化の取組を進め、学校施設のすべてで冷房化をすべきではないか。

**答** 諸課題については適切に対応する

部活動指導のガイドラインはおおむね適正に運用されており、業務改善につながっている。また、国の制度も積極的に活用していく。給食費の完全無償化はむずかしい。暑さ対策は、給食室は何らかの対応が必要であり、体育館は他市町村の動向を注視していく。



江原浩之 議員  
(隼人)

**問** オータムフェス開催は

オータムフェスが、こもれびの森を拠点として、市内各所で行われているイベントなどを集約し、同時に開催してはどうか。今後、オータムフェス、市では、こもれびの森まつりと名称を付けているが、どのように展開していくのか。また、周知については。

**答** イベントを集約し、開催していく

社会福祉協議会、シルバー人材センターと学び支援課で調整を行い、こもれびの森まつりとして生涯学習センターで開催していく。今後は、既存のイベントなどの見直しをはじめ、創意工夫を凝らしていく。周知については、市ホームページや広報紙などを活用する。

**問** 聖火リレーの招致を

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開幕まで2年を切った。日本国内すべての都道府県を聖火リレーすると聞くと、聖火リレーの概要と、県内のルート選定は。次に、聖火リレーの招致について、市は、どのような取組を行っているのか。

**答** 本市での聖火リレー実現に向け努力する

県内の聖火リレーは、2020年7月7日から9日までの3日間行われ、県内ルートは埼玉県聖火リレー実行委員会が選定する。市では県知事に対し本市が聖火リレーのルートに選ばれるよう要望書を提出した。引き続き、本市での聖火リレー実現に向け努力する。

